

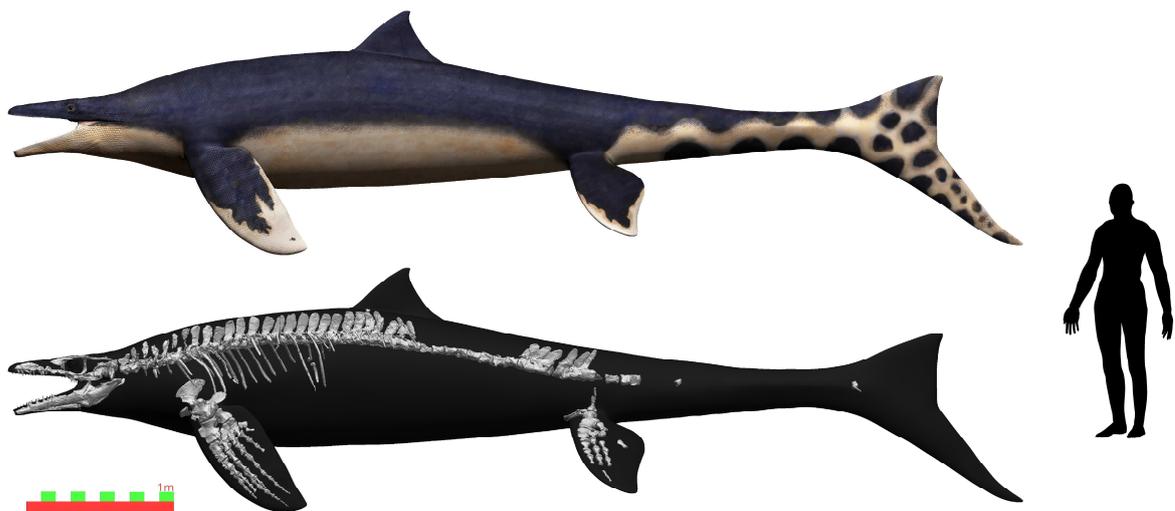
令和5年12月13日	
記者発表	
担当課	県立自然博物館
担当者	学芸課長 小原
電話	073-483-1777

有田川町産出のモササウルス類は新属新種！！

—これまでの学説を覆す新たな発見—

平成18年に有田川町で発見されたモササウルス類が、メガプテリギウス・ワカヤマエンシス (*Megapterygius wakayamaensis*) として新属・新種記載されました。また、県民の皆様に親しみをもっていたため、通称を「ワカヤマソウリュウ (和歌山滄竜)」とします。

ワカヤマソウリュウは、尾部を除くほぼ全身が保存されており、モササウルス類としてはアジア初の全身骨格化石となる、世界的にも貴重な標本です。今回の研究によって、異様に大きな脚ヒレ、両眼視できる前向き眼 (モササウルス類では2例目) や背ヒレの存在の可能性を示す (モササウルス類では世界初) 骨格など、これまでの学説を覆す多くの発見がありました。このことは、モササウルス類の多様性の高さを示すものであり、モササウルス類研究を大きく進展させる重要なものです。



ワカヤマソウリュウの生態復元図と産出部位 作製：©Takumi

- 1 通称 ワカヤマソウリュウ (和歌山滄竜)
- 2 学名 *Megapterygius wakayamaensis*
- 3 論文掲載雑誌 Journal of Systematic Palaeontology (イギリス)
- 4 出版日 令和5年12月11日 (オンライン)

〒642-0001 和歌山県海南市船尾370-1

和歌山県立自然博物館



TEL: 073-483-1777
FAX: 073-483-2721

<https://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp/>
mail: postmaster@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp